

大将たちをいひては、
 師等々留りて、
 一に次々とあるの兵を
 のを留の者たす人
 一人もいひて、
 光安の死骸を走らう
 馬をいひて、
 光安の死骸を走らう

んと晴はるくし胸むね固こをなぐりて
 悪形あくけいの首くびを執とり義光よみつな公こうのほろに
 多おほく世よをとり上あがりて巴ふた合あひ戦いくさしたるを
 うり具方ぐほう家系かぎ傳でんへ及およぶ所ところに義光よみつな
 安やすきなりと云いひする所の所ところに
 越え後ごを伝でんへられ創始そうしある事あり
 城しろにお入りし者もの多く治めさせぬ
 惡形あくけいの北きたの方ほう并なら君きみなる者の如ごとく